

1. 調査報告概要表

作成日 2007年11月5日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 3 4 7 1 7 0 0 2 6 4
法人名	グループホームひまわり
事業所名	府中ツキ板有限会社
所在地	広島県府中市中須町1412 - 1 (電 話) 0847 - 47 - 1006

評価機関名	特定非営利活動法人医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島県広島市安佐北区口田南4 - 46 - 09
訪問調査日	平成19年10月30日

【情報提供票より】(19 年 9 月 28 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 5 月 1 日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	15 人 常勤 14 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 14.6

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 階建ての 階 ~ 階部分
------	----------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円
敷 金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
1日あたり 1,200円			

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名
要介護3	5 名	要介護4	5 名
要介護5	5 名	要支援2	名
年齢	平均 83 歳	最低 71 歳	最高 99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ほそや内科クリニック
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当グループホームは街中の閑静な住宅街の一角にあり交通も便利で周辺には医院、お寺、お宮があり敷地は広く菜園では野菜や花がたくらわれて入居者は楽しみにされている。木造平屋の2ユニットで木の温もりが感じられ、広くゆったりとしたペースが確保され安心感があり、職員は常に入居者に声をかけ、会話を重視した対応をされてグループホームのあり方が入居者の笑顔にありました。事業者、管理者、職員は理念に基づき家庭的で穏やかな生活の支援をされていることを感じました。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価を前向きに受け止めミーティングで話し合い改善に向けた取り組みがみられました。地域密着型の理念をさらに向上する姿勢が伺えました。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者、職員はひまわりの理念 礼儀正しく、言葉使い、笑顔、信頼感を基に介護サービスに努め生活観ある環境のもとで、よりよい介護サービスをしようと取り組まれている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	身近な人々の参加を呼びかけ検討されている。今後運営推進会議に幅広い立場の人に参加してもらえるよう、働きかけられ、意見を聞き反映されることを期待します。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族には毎月便りを送り訪問の際は気軽に話してもらえる雰囲気や相談や話し合いをその都度されている。全職員で討議し運営の反映を目指されていると思われました。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	町内会の行事に参加されている中学生のボランティアの訪問があり交流されている地域のボランティアの訪問もあり認知症の理解や介護予防の話もされて地域との連携を図り地域に根ざしたホームに努められている。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	当ホームの理念は笑顔、親切、生きがい、楽しく、明るくを、地域の中で尊厳を守り、安心して暮らせるよりよい支援をつくられている。		今の理念を基に地域に根ざした理念をつくり運営に努められることを期待します。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	原点にもどり毎日の暮らしの中で職員は理念を共有し様々な取組みがされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	気軽に立ち寄ってもらえるよう、雰囲気作りに配慮されている。地域の方のボランティア、中学生のボランティア、障害者の方の立ち寄り、法人の方の訪問など地域の方との交流をされている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の内容で改善に努められ、ミーティングで話し合い改善につなげるよう努力をされている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の同業者と話し合い運営推進会議をこれまでの評価結果を踏まえて改善につながるよう取組みがされている。		運営推進会議でこれまで取り組んでいることや、内容など幅広い人々に報告しホームを理解してもらい意見をもらって反映につながることを期待します。

グループホームひまわり

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者より月1回は要望、助言を聞き、研修にも参加されている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族にはホームにできるだけ来てもらえるよう請求書を送付し面会をしてもらい情報提供もその都度されている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が訪問された時家族の意見や思いを聞くような雰囲気をつくられている。苦情箱も玄関に設置されている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設以来職員の離職も少なく近隣からの職員が多く、重度の方もおられ看護師が1分で駆けつけられる距離での対応ができています。夜勤が2名の勤務は労務管理のよい体制であり、異動が少なく入居者への安心の支援につながっている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホームではOJTを推進しており研修にも参加されホーム研修、地区の介護支援専門員連絡協議会の研修、研修の情報を全員が共有できるよう取り組まれている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者とのネットワーク作りや活動や問題点などの話し合いの取組みがされている。		

グループホームひまわり

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族と話し合いを持ち入居者の状況にあわせ十分な説明をし、どのような支援ができるか工夫されている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>ひまわりの理念である会話が大切なことに心がけ、入居者の楽しみを見つけ、一緒になって話題に取り組まれている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々のかかわりの中で、入居者の意思を大切に、話の中の表情などから好き嫌いをキャッチし、その人の思いを知り、支援につなげている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者の状況を全員が把握し、ミーティングで介護計画と合わせ現状の問題点やケアのあり方を検討されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月の見直しだけでなく、変化があった時状況に応じて見直しをされている。</p>		

グループホームひまわり

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族、入居者、の要望を十分に聞き支援がされている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は近く医師との連携で緊急時に連絡、報告し適切な医療が受けられる体制ができています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族、入居者、医師の話し合いを十分にされ納得され、同意を得られている。重度化された入居者の方への配慮は、食事、入浴、生活すべての支援が職員相互の力を合わせて医師、看護師の指導で協力体制ができています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者のプライバシーを損なわない対応が徹底されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の残存能力を引き出し、その人、その人のペースで過ごされており支援もされている。		

グループホームひまわり

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	行事食を作り入居者の楽しみとされている。(手作りケーキ、ちらし寿司)さつまいもを収穫され入居者におやつとして喜ばれている。散歩で近くのお宮におやつを持参するなど楽しみ方を工夫されている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	重度の方の入浴はリクライニングのストレッチャーで職員の協力が入居者に配慮しながら手厚い支援がされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の得意なこと、好きなことをして過ごせるよう日々支援されている。(元教師の方の体操)などその方の役割を活かされる支援がされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	敷地内や周辺の散歩コースが環境がよく、出かけられている。動物園や花見に行かれる行事もあり外出支援がされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	昼間はかけられないが、夕方の施錠はされることもある。職員は十分な見守り支援がされている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災訓練は年に2回され、地域の防災台帳が作られている。連絡網は詳細に作られている。夜間体制で必ず夜勤の誰でも訓練できるよう夜の火災訓練が行われている。		

グループホームひまわり

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>重度の方の嚥下食はとろみ食{らくらくごっくん}ミキサー食、刻み食、超みじん食など、入居者の状態に応じた食事の支援が細かくされている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間のソファや椅子は木製の安全な作りで温もりのある居心地よく感じる。畳の居場所もあり、工夫されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は家庭から持ち込まれた家具や使い慣れた物品が置かれている。家族の写真が貼られ家庭的な雰囲気があった。</p>		